



(公財)日本学校体育研究連合会

スポーツ審議会

スポーツ基本計画部会における関係団体ヒアリング

2025年12月4日(木) Dグループ10:00-12:00

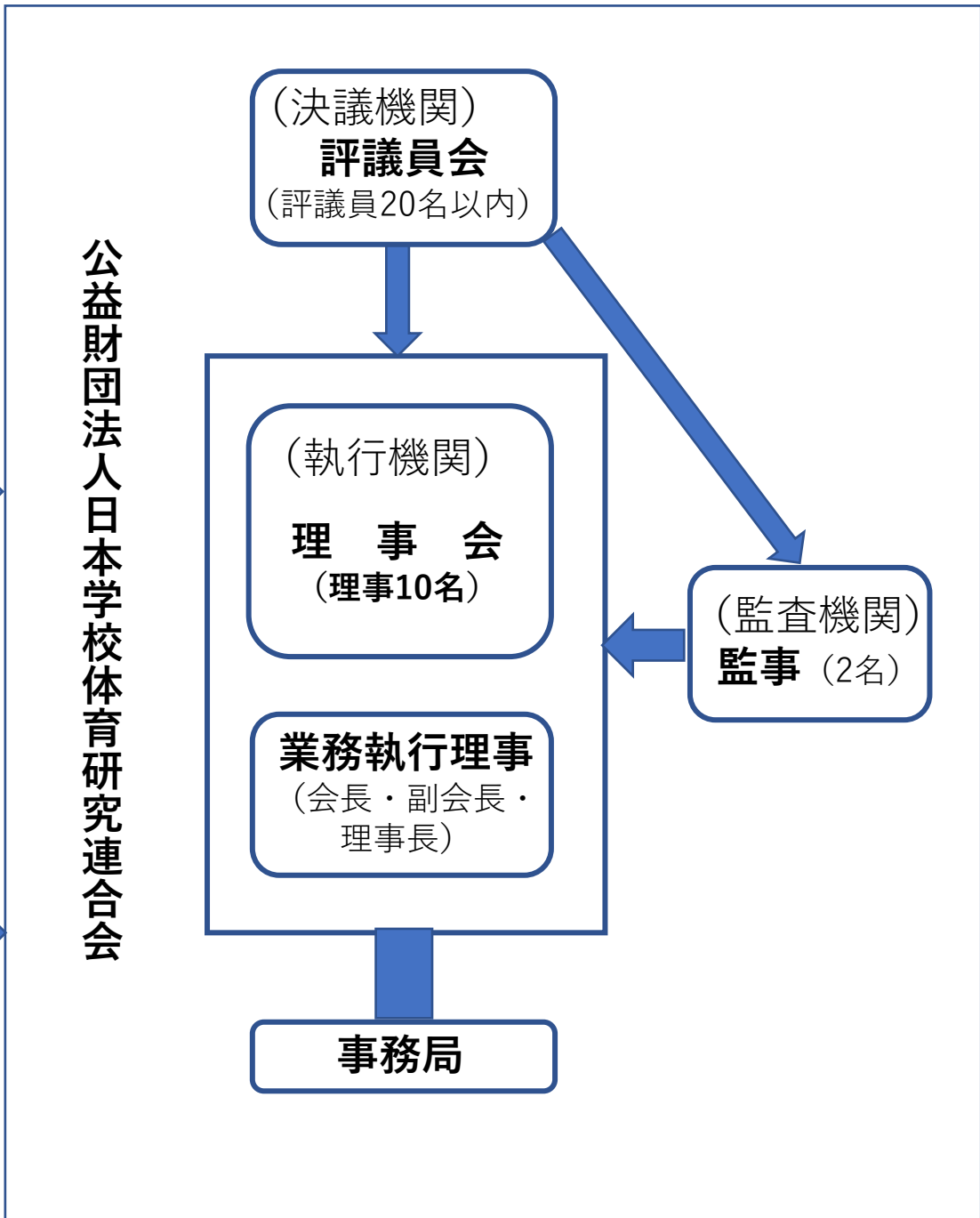
(公財)日本学校体育研究連合会

理事長 細越淳二

学体連紹介① 組織

内閣府
監督行政庁

スポーツ庁
所管行政庁



本会の構成団体…各都道府県学校体育研究連合会

全国幼稚園（認定こども園） 小学校 中学校
義務教育学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校 大学

学体連紹介② 主たる4つの事業

全国学校体育研究大会の開催
令和7年度 北海道大会（第64回大会）

研究開発事業

学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた指導方法の研究・開発、JASPE足育の推進

公報事業

会報、全国大会研究紀要・研究報告書、研究資料集、ホームページ、メールマガジン

体育授業の実践的研究

学校体育指導者の
資質の向上

表彰事業

学校表彰
個人表彰

全国学校体育研究
最優秀校（文部科学大臣賞）
全国学校体育研究優良校

全国学校体育研究功労者
体育授業優秀教員
学校体育研究特別賞

講習会事業

実技指導者講習会
（東京・地方）

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、
特別支援学校

長期研修生等合同研究発表会

法人賛助会員（25社）
個人賛助会員（R7年52名）
大会協賛企業

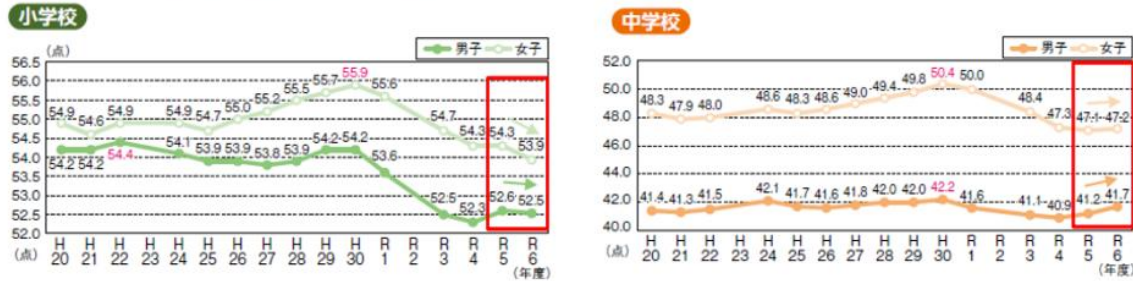
47都道府県学体連分担金

体育科・保健体育科の現状分析と課題①

～令和6年度 体力・運動能力, 運動習慣等調査結果報告書より～

○体力合計点

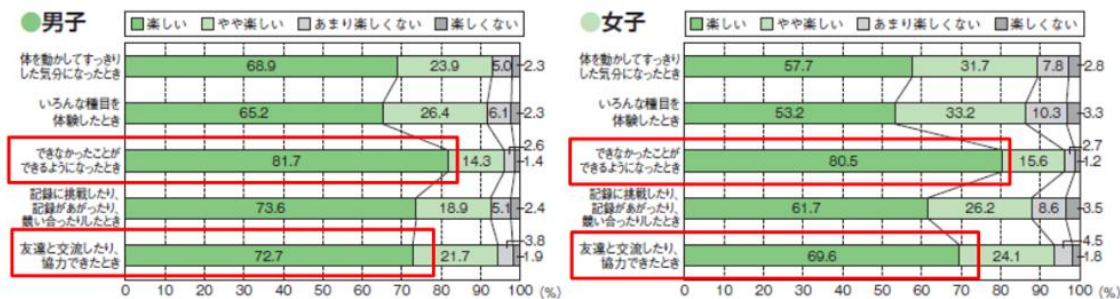
体力合計点は、中学校男子ではコロナ前の水準に戻ったが、小学校男子及び中学校女子では前年度からほぼ横ばい、小学校女子は引き続き低下している。



児童生徒が「体育・保健体育の授業を楽しんでいるとき」として、「できなかったことができるようになったとき」、「友達と交流したり、協力できたとき」と回答する割合が多い。

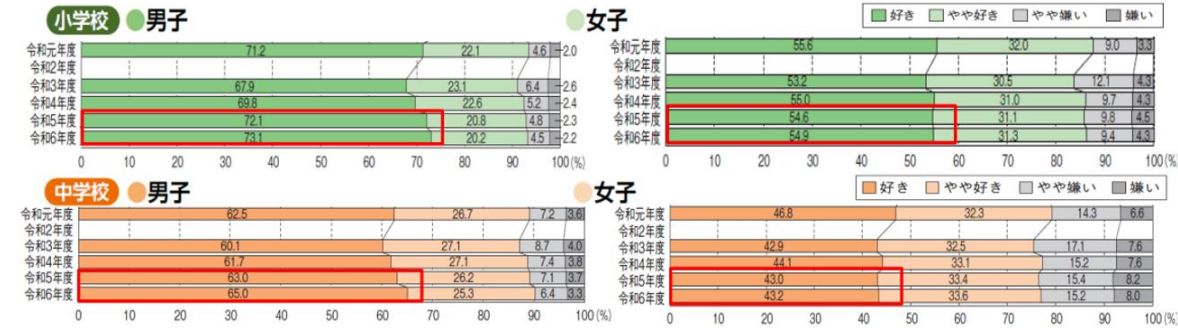
「体育・保健体育の授業が楽しいと感じるとき」の児童生徒の回答

(小学校)

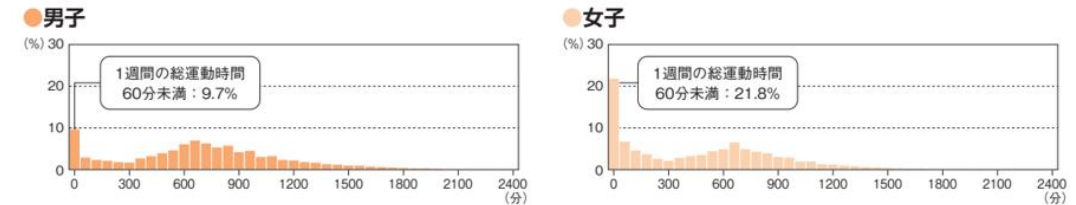


○運動に対する意識

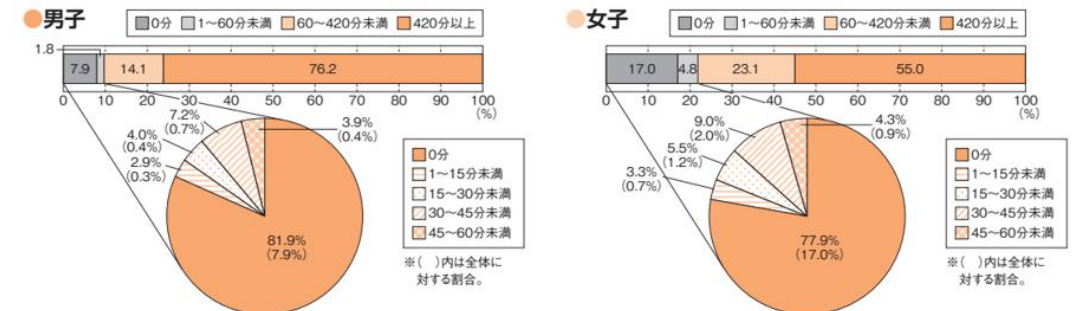
「運動は好き」と答えた児童生徒は、小中学校男女ともに増加し、中学校男子では過去最高。



〈1〉1週間の総運動時間の分布



〈2〉1週間の総運動時間別の生徒の割合



体育科・保健体育科の現状分析と課題②

○保健と体育の更なる連携の促進

○児童生徒の心と体を豊かにする教科としての位置付けの強化

○子供たちの運動経験のアンバランス

○水泳授業の安定的な実施への不安と課題

次期スポーツ基本計画への期待と要望

①運動・スポーツの価値や教育的可能性の再定義

➡ 体育を通した全人形成の再認識を(体育で身に付ける「知・徳・体」)

②共生の価値観を大切にした学校体育の促進

➡ 多様な個性・特性や経歴をもつ者が共に学ぶことの意義や価値の促進を

③動きづくりと仲間づくりを大切にした体育学習の促進

➡ 仲間との豊かな関わりを通したバランスのよい動きの獲得を

④学校運動部活動の円滑な地域展開

➡ 学校運動部活動が、地域の実態に応じた適切な形で展開できるような支援体制を

⑤児童生徒の実態に応じた教師の柔軟な指導力の獲得

➡ 全ての児童生徒の体育学習の充実に向けた指導者養成を